別紙３

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	ネットワークセキュリティ監視及び機器保守業務　一式	
契約締結日	2024年2月29日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	2024年01月05日公告 2024年02月27日入札書受領期限 2024年02月29日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	総務省行政管理局公共サービス改革推進室の助言に基づき、作業量の見える化、委託内容の具体的記述に配慮した仕様記載の見直しを行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間の十分な確保のため、契約締結から委託開始までの準備期間として30日以上確保するよう調達スケジュールの前倒しを行った。
③公告期間の見直し	○	官報にて50日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	公募開始とあわせてNEC、富士通、日立や同種業務の締結実績を持つ業者に対して公募書類の受け渡しについて案内を行った。また、入札説明会を実施し、再委託による一部業務の外出しも可能であることや参加希望者からの質問に答える場を設けることにより競争参加を促す努力を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	
⑥業者等からの聴き取り	○	新規に受託した場合に、仕様を満たすだけのリソースを有していないとの回答が複数あった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
業者等からの聞き取りではリソース不足を理由にあげる意見が複数あったことも踏まえ、仕様書作成前からNEC、富士通、日立等業界大手と意見交換を行いながら業務の見直しを行った。また、新規受託時には新たなエンジニアの確保が必要となるので、契約期間の複数年化を検討した。ただし、今回は昨今の急激な人件費の高騰もあり、数年後の単価水準がが見通せないとの業者意見が多数あったことから、採用を見送り、価格の推移を見ながら、次回以降も引き続き検討する事とした。		
契約監視委員会のコメント		
本件に関しては、政府調達入札の対象であることから、原則、官報に公告のうえ入札という流れに則る必要があった。その上で様々な取り組みを行ったが、結果、1者応札となったことはやむを得ないところ。今回の結果を踏まえて、次回以降、公募型企画競争に切り替えることも含めて引き続き検討を行うこと。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置） 引き続き公募型企画競争への切替等、契約方法の見直を含めて検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）		

（注）１．「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における１者応札・１者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
（注）２．「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
（注）３．本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。